

**最近の本学の取組等について**  
**2022.1 ~ 2022.3**

### 1. 第4回材料科学フロンティア研究院国際シンポジウム～材料科学における融合研究～

材料科学フロンティア研究所（FRIMS）は2016年に設立されて以来、原子・分子レベルでの材料設計による新素材の合成、計測評価技術の開発、計算科学による材料開発法の革新など、日本が強みを持つ材料科学研究の進化を支える挑戦的な研究および融合研究領域の開拓を進めてきました。今回6年間の研究の集大成として、FRIMS構成員による研究成果発表を行うとともに、これからの材料開発に必要な異分野との融合研究領域の開拓について議論しました。なお、講演は英語で行われました。

日時：2022年3月8日（火）10：30～17：30、9日（水）9：00～16：00

開催方法：オンサイト（4号館ホール※定員90名）、オンライン（Zoom）

対象者：本学学生および教職員（参加者数116名）

内容：

- ・基調講演

（講演者：Prof. Masashi Kotobuki (Ming Chi university of Technology, 台湾)、Prof. John Tse (University of Saskatchewan, カナダ)、Prof. Alexei Kuzmin (University of Latvia, ラトビア) )

- ・招待講演

（講演者：Prof. Shimaa El-hadad (Central Metallurgical Research and Development Institute, エジプト)、Prof. Anna Marzegalli (Università degli Studi di Milano-Bicocca, イタリア)、Prof. Emilio Scalise (Università degli Studi di Milano-Bicocca, イタリア)、Prof. Jens R. Stellhorn (広島大学)、Prof. Osman Murat Ozkendir (Tarsus University, トルコ))

- ・その他本学材料科学フロンティア研究院所属教員による講演 等

## 活動予定

### 1. 名古屋工業大学教育研究活動報告会

本学を支えてくださるすべての方々に対して、より一層のご理解・ご支持を賜るべく、本学の教育研究活動報告会を開催します。  
社会に開かれた大学を目指し、学生、保護者、同窓生、産業界、地域の方々と情報・意識の共有を図りながら、不断に大学改革に臨んでまいります。

日時：2022年3月18日（金）14：00～15：00

開催方法：オンライン

対象者：希望者

内容：【説明者】渡部 廉弘（本学事務局長）

- ・ 大学改革・教育研究活動報告
- ・ 2020年度財務報告 他
- ・ 質疑応答

### 2. 第5回名工大音楽プロジェクトコンサート「格調高き昭和歌謡」

2020年より延期となっていた名工大音楽プロジェクト第5回コンサートを開催します。

『四季の歌』の作詞・作曲でデビューし、その後、テレサ・テンの名曲をはじめ演歌から童謡まで、数多くの昭和を代表する歌謡曲を作詞された荒木とよひささんをお迎えして、音楽にことばをのせること、ことばの音楽についてお話を伺います。

日時：2022年3月19日（土）13：00～15：00

開催場所：名古屋工業大学 NITech Hall

対象者：希望者（定員 150 名）

出演者：荒木とよひさ（作詞家）、重盛啓之（ナビゲーター）、蛭牟田実里（ヴォーカル）、二宮咲子（ソプラノ）、東音佐藤さくら子（長唄三味線）、甚目裕夫（ピアノ、音楽監督）、額賀晋也（サクソフォン）、松永悠太郎（編曲）、名古屋工業大学管弦楽団（オーケストラ）

### 3. 2021年度学位授与式、2022年度入学式

2021年度学位記授与式及び2022年度入学式について、以下の開催方法で準備を進めています。

- ・学位記授与式

日時：2022年3月26日（土）学部 11：00～ 大学院 13：00～

場所：名古屋市公会堂

※卒業生、修了生のみ参加

※式典の様子をインターネットで同時配信

- ・入学式

日時：2022年4月6日（水）学部 12：00～ 大学院 14：00～

場所：名古屋市公会堂

※新入学生のみ参加

※式典の様子をインターネットで同時配信

## 教員の受賞

### 1. 第4回日本オープンイノベーション大賞における「日本学術会議会長賞」

受賞団体：平田 晃正 教授、小寺 紗千子 特任准教授、他学外3名

受賞対象：計算科学に基づく熱中症リスク管理と普及啓発【熱中症ゼロ社会に向けて】

概要：この賞は、ロールモデルとなる先導的又は独創的な取組の表彰と発信により、オープンイノベーションを更に普及させ、我が国のイノベーション創出を加速することを目的として、内閣府が授与しています。今回の平田教授の取組みが、気候変動問題への対策も含めて、SDGsに資するものとして意義があると評価され、受賞しました。

受賞日：2022年2月22日（授賞式）

### 2. 文部科学省ナノテクノロジープラットフォーム事業\*における令和3年度の「秀でた利用成果」優秀賞

受賞団体：（実施機関担当者）種村 眞幸 教授、

（設備利用・技術支援ユーザー）Yong Yang 氏（Shanghai Institute of Ceramics, Chinese Academy of science）

受賞対象：「分子・物質合成プラットフォーム【金ナノ構造を用いた新型コロナウイルスの超高感度高速検出】」

概要：この賞は、文部科学省ナノテクノロジープラットフォーム事業における、昨年度までの約27,000件の利用課題のうち、37の実施機関から提出された51件の候補から、イノベーションに繋がることが期待できるなど特に秀逸な成果を7件選定したものの。本学種村教授は実施機関担当者として研究に参画し、新型コロナウイルスの極微量高速検出において、リアルタイムPCR検査法（分析時間1時間以上）に匹敵する、高感度分析（分析時間5分以内）の実現に貢献しました。

受賞日：2022年1月26日（授賞式）

※ナノテクノロジープラットフォーム事業では、ナノテクノロジーに関する最先端の研究設備とその活用のノウハウを有する全国の大学・研究機関（25機関）が協力して最先端設備の共用体制を構築し、産学官の幅広い利用者に対し、最先端設備の利用機会と高度な技術支援を行い、革新的な材料開発によるイノベーションの創出に貢献を目指している。